

令和3年度 一般会計補正予算(10号) 【概要】

1 各会計の補正状況

(1) 補正予算額

会計区分	補正前	今回補正	補正後
一般会計	74,166,612	185,157	74,351,769
国民健康保険特別会計	15,754,050	0	15,754,050
土地区画整理事業特別会計	2,292,735	0	2,292,735
介護保険特別会計	15,466,744	0	15,466,744
後期高齢者医療特別会計	4,675,685	0	4,675,685
市立病院事業会計	10,124,849	0	10,124,849
下水道事業会計	6,704,233	0	6,704,233
合計	129,184,908	185,157	129,370,065

(2) 主な補正内容

会計区分	主な内容
一般会計	<p>①新型コロナウイルス感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域PCR検査センターへの継続対応 ・住居確保給付金の増額 ・感染症対策用品の購入 ほか <p>②東京都「3つのCに係る区市町村新規包括補助」事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個」と「個」をつなぐ居場所づくり事業 ・「寄合処ひの」まちなか実証・まちづくり講座事業 ・カワセミハウス居場所づくり事業 ・HiKnow！再構築事業

2 一般会計の補正内容

(1) 歳入予算

(単位) 千円

予算科目	主な内容	今回補正
国庫支出金	①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 ②住居確保給付金 ③消防団新型コロナウイルス感染症対策事業	53,492
都支出金	①子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業 ②医療保健政策区市町村包括補助事業	32,199
寄附金	①指定寄附金(感染症対策)	1,060
繰入金	①財政調整基金繰入金 ②新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金積立基金繰入金 ③新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金	98,406
合計		185,157

(2) 歳出予算

主な新型コロナウイルス感染症対策事業

地域PCR検査センターへの継続支援	12,538千円
<p>新型コロナウイルス感染症が終息せず、拡大している状況であることから、当初9月までの稼働を想定していた地域PCR検査センターについて、継続稼働するために支援をするもの。 (当初想定)令和3年9月まで (現在想定)令和4年3月まで ※令和3年10月～令和4年3月分を追加で補正</p>	

住居確保給付金の対象拡大等に伴う増額	14,486千円
<p>離職等により住宅を失った(失う恐れのある)生活困窮者等に対し家賃相当額を支給する住居確保給付金について、制度対象者の緩和(拡大)及び当該制度の再々延長・再申請が新たに創設され、最長利用期間が6カ月延長された。これにより、利用者が増加していることから、増額し対応するもの。</p>	

新型コロナによる自宅療養者への食糧支援	5,499千円※
<p>新型コロナウイルス感染症に罹患し、自宅療養している方に対し、3日分の食料を支援するもの。また、配送業務を委託により実施するもの。</p> <p>(都から支援される仕組みがあるが、感染者の急増により支援に遅れが生じていることから、空白期間が生じないように対応をおこなうもの。現在実施している分については予備費で対応をおこなっており、今回補正では10月以降分について予算化をおこなう)</p> <p>※新型コロナウイルス緊急対策経費(健康課)のうち 自宅療養者向け食糧費 4,438千円 食料配送業務委託料 990千円 消耗品費 71千円 の合計額</p>	

新型コロナによる自宅療養者に向けたパルスオキシメーターの整備	2,377千円
<p>医療の逼迫により自宅療養者が増えている状況を踏まえ、パルスオキシメーター(酸素飽和度を測定する医療機器)を購入し、在宅での健康状態の管理に対し支援を実施した。</p> <p>これにより、本来揃える予定であった感染対策用消耗品等が購入できなくなったことから、補てんをするもの。</p>	

新型コロナによる自宅療養者とかかりつけ医との連絡体制の強化	1,500千円
<p>医療の逼迫により自宅療養者が増えている状況を踏まえ、療養者とかかりつけ医との連絡体制を強化し、速やかな状態確認ができる環境を構築するもの。</p> <p>※医師会への補助として実施</p>	

マイクロフィルム保管文書の電子化	34,148千円
<p>現在市内にマイクロフィルムで保管されている公文書や図面等については、劣化が進み、保管が困難な状況になりつつある。電子データ化をおこなうことでこれを解消するとともに、自治体の電子化を促進するもの。</p>	

建築指導事務所空調設備の改修	18,370千円
<p>老朽化している建築指導事務所の空調設備を改修し、建物内の換気状態を改善することで、感染症予防対策を強化するもの。</p>	

外部施設における業務用ネットワーク環境の整備	10,000千円
<p>新型コロナウイルス感染症対策として、職員の密状態を避ける必要性が高まっていることから、職員が勤務する外部職場のうち、Wi-Fi環境が整っていない施設について整備をおこない、職場環境のデジタル化を促進することで、分散勤務やWeb会議等への参加を可能にするもの。</p> <p>＜整備予定施設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七生支所 ・多摩平の森ふれあい館 ・発達・教育支援センター(エール) ・クリーンセンター など 	

水滴除去器具の設置	4,400千円
<p>雨天時に各施設で配布している傘用のビニール袋について、不特定多数の人が触れることで感染症拡大につながる恐れがあることや、使用後にプラスチックごみとなることで環境への負荷が大きいことから、代替として水滴除去器具を設置するもの。</p> <p>＜設置予定施設＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・生活・保健センター ・多摩平の森ふれあい館 ・発達・教育支援センター(エール) ・クリーンセンター ・市民会館 ・七生公会堂 ・(仮称)南平体育館 ・カワセミハウス ・市民陸上競技場 	

映画『燃えよ剣』公開に合わせたPR事業	14,930千円
<p>映画『燃えよ剣』公開に合わせ、土方歳三をテーマとした宝探しイベントやガイドツアーなど、日野市への来訪促進事業を行い、外出を促進するもの。</p> <p>※コロナの感染状況に鑑み、密状態にならないよう内容を調整し実施</p>	

百草・倉沢地区における外出促進事業	9,324千円
<p>百草・倉沢地区においてマイクロツーリズムとして「宝探し」イベントを行い、外出促進の機会を提供するもの。また、普段は見過ごしてしまいそうな文化財の再発見を促すことで、「文化財地域計画」策定に向けた機運を高めるもの。</p> <p>※コロナの感染状況に鑑み、密状態にならないよう内容を調整し実施</p>	

東京都「3つのC」事業

東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業」(3つのC)の採択を受けたため、今回補正で予算化するもの(補助率10/10)

「寄合処ひの」まちなか実証・まちづくり講座事業

5,995千円

民間企業等と連携し、多摩平地区、高幡台地区の未利用地を暫定活用しながら、対話の場や参加型の講座を実施するもの。

「個」と「個」をつなぐ居場所づくり事業

6,846千円

多摩平中央公園地区センターをだれでも気軽に利用できる「居場所」に転換するため、市民とともに空間コンセプトを検討し、運営事業者の検討・協議、整備を行うもの。

カワセミハウス居場所づくり事業

2,902千円

カワセミハウスが多世代・多主体間で気軽に交流できる居場所となるよう、市内の水環境を再現した水槽の整備や、世代間交流のツールとなるゲーム機の整備を行うもの。

HiKnow！再構築事業

4,956千円

生涯学習ポータルHiKnow！について、地域活動の担い手不足や活動主体間の情報連携不足を解消し、様々な担い手・受け手が出会えるように再構築をおこない、「知りたい」「学びたい」人々が最初に訪れる総合的なサイトを作成するもの。